

政務調査研究視察 報告書

平成18年12月12日提出

視 察 日	平成18年7月17日（水）～7月21日（金）	
視 察 先	登別市、札幌市	
視 察 内 容	第68回全国都市問題について	
視 察 者	近藤隆志、澤 豊、中根勝美、加納吉久、野村康治、杉浦立美、柴田泉 小野政明、山本雅宏、新海正春、田口正夫、山崎憲伸、山崎泰信、園山康男 計14名	
札幌市	<p><全国都市問題会議に参加して> 札幌コンベンションセンターにて7月20日21日の 両日全国の市議会議員関係者含めて2617名が参加して 行われました。 今回のテーマは「都市の連携と交流—まちのちからの活用」です。 初日は開会式から始まって特別講演、一般報告となっています *特別講演は建築家の安藤忠雄氏の「市民参加のまちづくり」 について講演を聴く。</p> <p>1、表参道ヒルズ 2、地上30m、地下30mの都市への挑戦 3、境界を越えて—サントリーミュージアム 4、桜の会平成の通り抜け等について の内容であり市民の力によって理想の風景へ、現在の庭園づくり進めていく新しい形の 街づくりを発信している。</p> <p>* 一般報告は新潟市長の篠田 昭氏の「食と花で開かれる政令都市・新潟の扉のテーマで 食と花で世界に貢献として合併による新たな使命農業を主体とした“新潟の姿”、「食と花の世界 フォーラム」を来年から開催する。</p> <p>* 旭山動物園園長の小菅正夫氏より「動物園の改革について」近代動物園の社会的使命として4つ の使命は、(レクリエーション・教育・研究・自然保護) であり環境教育や希少動物の繁殖がメ インである。 来場者に感動を与える展示として全国の人の注目の的となっている。 現代の再開発事業のシンボルとしての自信が今回の講演となった。</p> <p>2日目は、パネルディスカッションとして コーディネーター平野次郎氏（学習院女子教授）の進行で パネリスト井上繁氏（常盤大学教授）安井潤一郎氏（早稲田商店会長）小林英嗣氏（北海道大学大 学院教授）齋藤未来氏（ナムコキャスティングディレクター）中山弘子氏（新宿区長）森雅志（富山市長） の方々がそれぞれ「都市の連携と交流—まちのちからの活用」について意見を述べられました。</p> <p>[感想] ・ 町の基本形はなにかを市民に考えさせる ・ ゴミを都市のPRとしていく リサイクル=子供達を参加させる—空店舗のリサイクル ・ 大学と都市の連携を多くすること ・ それぞれの都市の良い点をのぼす=差別化の時代 ・ 市と商工会議所の連携が大事であるが商工会が主導ではダメ というようにこれからの時代は住民、店舗経営者を同一線上で考えるのではなくそれぞれに責任と権 利をあたえて市政をつかさどっていくべきだと思います。</p>	
		<p>[感想・岡崎市への反映] ・ 市と商工会議所の連携は市の発展には不可欠であるが 商工会議所主導では駄目との感想にあるように、市が 主導してそれを商工会議所が協力していく体制が一番と 考えられる。 ・ 今後、岡崎市も住民と店舗経営者を同一線上で考えるのでは なく、それぞれの立場で責任と権利をあたえての上で 市政をつかさどることが「まちのちから」を生み出す原動力になることを認識するべき と考えます。</p>



--	--